

# 資料編

## インタビューガイド(身体障害者・就学後障害児)

<b>◎基本情報</b>
問1 年齢、性別
問2 手帳等級、障害名
問3 世帯の状況(単身、同居者有り)
問4 主な介護者(単身の場合はヘルパーということがある)
<b>◎日中活動・生活上の問題点</b>
問1 現在、主に日中どのように過ごしているか
問2 日常生活を送る上で、困っていること・不便に思うことは何か
問3 現在、そのことについてどのように対応しているか
問4 どのようなサポートが必要か
問5 今後、どのように過ごしていきたいか
問6 そのために、どのようなサービスがあると望ましいか
補 住宅のバリアフリーについて
補 外出時に困ること
<b>◎相談機関・相談相手について</b>
問1 何か困った時の相談相手は
問2 総合的な視点で生活全般を見てくれる人はいるか
<b>◎就労について</b>
問1 就労の希望の有無
(有)問2 どういう仕事がしたいか(就労先も含めて)
(有)問3 どういったサポートが必要か
(無)問2 就労を希望しない理由
<b>◎障害福祉サービスについて(利用者)</b>
問1 どのような障害福祉サービスを利用しているか(居宅系、給付系、施設系、その他)
問2 利用してよかった点
問3 利用している中で、不足していること・改善すべき点
問3-2 サービス提供者との関係は良好か
問4 サービスを利用するにいたった経緯(情報源など)
問5 「あったら良いな」と思う(または過去に思った)サービス
問6 障害者自立支援法施行前後での生活や経済状況の変化

問6-2 サービス量の増減や負担感の増減
※65歳以上の視覚の方には移動支援、聴覚障害の方には手話通訳者派遣、要約筆記者派遣のサービスについて聞き取る。
<b>◎障害福祉サービスについて(利用していない者)</b>
問1 福祉サービスを利用していない理由
問2 サービスを利用せずに、どのように対応しているか
問3 こんなサービスがあったら使ってみたい、という要望はあるか
<b>◎情報提供について</b>
問1 必要な情報はこういったことか
問2 主な情報源
問3 区などからの情報量は十分だと思うか
問4 情報を得るうえで、不便に思うことはあるか
問5 情報の提供は、どのような方法が望ましいか
<b>◎その他の質問1</b>
問1 区への要望など
<b>◎その他の質問2</b>
問 今、興味を持っていることは何か。それをするために必要なサービスは
問 趣味
問 最近の楽しみ
問 5年後または10年後のビジョンや夢
問 これからも文京区に住み続けたいと思うか

## インタビューガイド(精神障害者)

<b>◎基本情報</b>
問1 年齢、性別
問2 手帳等級、障害種別
問3 障害の状況
問4 同居の有無
<b>◎通院・入院</b>
問1 通院・入院の状況
問2 治療継続のために必要なサービス
<b>◎日中活動について</b>
問1 日中活動の状況(通所回数・休日)
問2 今後の日中活動の希望(就労の希望など)
<b>◎就労について</b>
問1 就労の希望の有無
問2 就労経験の有無
(希望有)問2-1 どういう仕事がしたいか
(希望有)問2-2 就労する上での必要なサポート
(希望無)問2-1 就労を希望しない理由
問3 就職活動する上でのカミングアウトの有無
<b>◎収入・支出</b>
問1 主な収入源とその金額
問2 自立生活できるくらいの収入か
問3 支出額とその内容
<b>◎福祉サービスについて</b>
問1 利用している行政サービス
問2 現在利用してなくても、受けたいサービス
問3 今後力を入れて欲しい施策
<b>◎相談・情報提供</b>
問1 福祉サービスの情報を誰から教えてもらったか

問2 必要な情報・欲しい情報
問3 望ましい情報提供の方法
問4 困ったときの相談相手
<b>◎精神障害者福祉施策</b>
<b>◎将来</b>
問1 地域との交流はあるか
問2 今後の生き方(希望している暮らし方・夢)
問3 希望を実現するための方法や必要な公的サービス
問4 地域で自立した生活を送るために必要なもの (障害のためにあきらめたり妥協したこと)
<b>◎その他</b>
問1 区への要望

## インタビューガイド(就学前障害児)

<b>◎基本情報</b>
問1 回答者
問2 本人の性別と年齢
問3 手帳の有無
問4 障害の状況
問5 日中の通園先
<b>◎主な介護者の状況</b>
問1 健康状況
問2 就労状況
問3 要望するサポート
<b>◎早期発見、早期療育に関して</b>
問1 初めに相談した機関、時期、紹介された機関
問2 福祉センターを利用したきっかけと時期
問3 その時期に欲しかったサービス
問4 その時期に欲しかったサービス
EX) 医療・福祉間の連携について
<b>◎幼稚園、保育園、福祉センターの指導内容について</b>
問1 指導内容に関する要望
問2 利用してよかった点
問3 民間の療育機関の利用について
問4 入園時に困ったこと、要望
EX) 送迎問題 保育園延長保育の障害児枠について 親同士交流の場の確保 障害のない兄弟のセンター利用の拡大 福祉センター、幼、保、小学校間の連携・情報共有について
<b>◎相談機関について</b>
問1 相談体制の充実への要望
問2 希望する専門相談
問3 専門指導・訓練への要望

EX) 教育、福祉、医療の連携 経済支援 支援体制の明示
◎日常生活上の問題点
問1 困っていること
問2 要望するサービス
問3 必要な情報は何か
EX) 帰宅後の過ごし方について 親への専門的なレクチャー、レスパイト
◎就学についての問題意識
問1 必要な情報は何か
問2 要望するサポートは何か
EX) 普通学級での指導・療育支援の充実 就学後の福祉センターの利用 送迎問題 幼・小・中・高の一貫カリキュラム 子供に関わる全ての人の意識改善

## インタビューガイド(知的障害者)

### 【施設通所者】

◎利用者が中・軽度(概ね理解・会話ができる)の本人への質問項目
問1 入所(施設の利用)する前はどんなことをしていたか
問2 何歳のときに入所したか
問3 今は誰とどこで過ごしていたか
問4 なぜこの施設を利用することになったか
問5 この施設を利用して楽しいと思うことはどんなことか
問6 この施設を利用して困っていることはどんなことか
問7 あなたの得意なことは何か
問8 休みの日はどのように過ごしているか
問9 これから(将来)やってみたいこと(就職等)はどんなことか
問10 これから先(将来)は、誰とどのように過ごして行きたいか
《地域での自立を考えている場合》
問1 これからはどんなこと(仕事・作業等)をしたいか
問2 それはいつ頃からしたいと考えているか
問3 そのために何か取り組んでいること、準備していることはあるか
問4 そのためにどのようなものやサービスが必要か
問5 これからの生活に心配なことはあるか
問6 これからのことについては、誰とどのような相談をしているか
問7 これから(将来)の夢は何か
《地域での自立を考えていない場合》
問1 なぜそう思うか
問2 これからの生活に必要なことは何か
問3 これからの生活に心配なことはあるか
問4 これからのことについては、誰とどのような相談をしているか
問5 これから(将来)の夢は何か
◎利用者の母親への質問項目
問1 入所(施設の利用)する前はどんなことをしていたか
問2 何歳のときに入所したか
問3 今は誰と過ごしていたか
問4 施設を利用するきっかけは何か



問5 余暇(休みの日)はどのように過ごしているか
問6 これから(将来)の目標(就職等)はどんなことか
問7 これから先(将来)は、誰とどこでどのように過ごすのが良いと思うか
<b>《地域での自立を考えている場合》</b>
問1 今後の日中活動はどこでどんなこと(仕事・作業等)をしていくことが良いと考えるか
問2 地域での自立は具体的にどのような生活を想定しているか
問3 それはいつ頃からしたいと考えているか
問4 そのために何か取り組んでいること、準備していることはあるか
問5 そのためにどのようなものやサービスが必要か
問6 これからの生活に心配なことはあるか
問7 これからのことについては、誰とどのような相談をしているか
問8 今後の生活を考えるに当たっての意見・希望はあるか
<b>《地域での自立を考えていない場合》</b>
問1 なぜそう思うか
問2 これからの生活に必要なサービスは何か
問3 これからの生活に心配なことはあるか
問4 これからのことについては、誰とどのような相談をしているか
問5 今後の生活を考えるに当たっての意見・希望はあるか

**【施設入所者】**

<b>◎利用者が中・軽度(概ね理解・会話ができる)の本人への質問項目</b>
問1 入所する前はどんなことをしていたか
問2 何歳のときに入所したか
問3 入所する前には誰とどこで過ごしていたか
問4 なぜ入所することになったか
問5 この施設を利用して楽しいと思うことはどんなことか
問6 この施設を利用して困っていることはどんなことか
問7 日中の活動はどのようなこと(作業・訓練等)をしているか
問8 お休みの日はどのように過ごしているか
問9 これから(将来)の生活はどこでどのように過ごしたいと思っているか
<b>※ 相手の答えから、地域移行への質問を進めてゆく</b>

《地域移行を考えている場合》
問1 これからはどんなこと(仕事・作業等)をしたいか
問2 それはいつ頃からしたいと考えているか
問3 そのために何か取り組んでいること、準備していることはあるか
問4 そのためにどのようなものやサービスが必要か
問5 これからのことについては、誰とどのような相談をしているか
問6 これから(将来)の夢は何か
《地域移行を考えていない場合》
問1 何故そう思うか
問2 これからのことについては、誰とどのような相談をしているか
問3 これから(将来)の夢は何か
◎利用者が重度(理解や会話ができない)の施設職員への質問項目
問1 入所する前はどんなことをしていたか
問2 入所して何年になるか
問3 入所する前には誰とどこで過ごしていたか
問4 なぜ入所することになったか
問5 この施設を利用することになったきっかけや理由は何か
問6 本人の障害状況にはどのような特徴があるか(詳しく)
問7 日中の活動はどのようなこと(作業・訓練等)をしているか
問8 余暇活動(お休みの日等)はどのように過ごしているか
問9 ご本人はこれから(将来)どこでどのように過ごしたいと思っているか
問10 ご本人はこれから(将来)どこでどのように過ごすことが良いと思われるか
問11 それはなぜか
《地域移行を考えている場合》
問1 それを実現するために何か取り組んでいること、準備していること等はあるか
問2 それを実現するために必要なサービスや資源等は何か
問3 それを実現するためにどのような相談をしているか
問4 それを実現するためにどのくらいの時間が必要か
問5 それを実現するために何か心配なことはあるか
《地域移行を考えていない場合》
問1 地域移行以外の生活をする上で、何か取り組んでいること、準備していること等はあるか

問2 これからの生活についてどのような相談をしているか
問3 今後の生活について何か心配なことはあるか
<b>◎利用者の保護者への質問項目</b>
問1 入所する前はどんなことをしていたか
問2 入所して何年になるか
問3 入所する前には誰とどこで過ごしていたか
問4 施設を利用することになった理由は何か(詳しく)
問5 この施設を利用することになったきっかけは何か
問6 本人の障害状況にはどのような特徴があるか(詳しく)
問7 施設での日中活動はどのようなこと(作業・訓練等)をしているか
問8 余暇活動(休みの日等)はどのように過ごしているか
問9 本人はこれから(将来)どこでどのように過ごしたいと思っているか
問10 本人はこれから(将来)どこでどのように過ごすことが良いと思われるか
問11 それはなぜか(詳しく)
<b>《地域移行を考えている場合は》</b>
問1 それを実現するために何か取り組んでいること、準備していること等はあるか
問2 それを実現するために必要なサービスや資源等は何か
問3 それを実現するためにどこでどのような相談をしているか
問4 それを実現するためにどのくらいの時間が必要か
問5 それを実現するために何か心配なことはあるか
問6 実現後に必要なこと(サービスや資源等)があるか
<b>《地域移行を考えていない場合》</b>
問1 地域移行以外の生活続ける上で、何か取り組んでいること、準備していること等はあるか
問2 これからの生活についてどのような相談をしているか
問3 今後の生活について何か心配なことはあるか

調査関係者名簿（東洋大学）

役 職	氏 名	所 属
全体統括	高 山 直 樹	東洋大学社会学部社会福祉学科教授
	加 山 弾	東洋大学社会学部社会福祉学科専任講師
学生統括	鈴 木 隆 大	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年

《調査チーム》

種 別	氏 名	所 属	
身体障害	眞 田 弥 生	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	島 村 芳	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	鈴 木 隆 大	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	補佐	今 市 久 芳	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年
		金 子 彰 良	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年
		馬 場 彩 香	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年
		望 月 香 奈	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年
知的障害	田 崎 茂 雄	東洋大学社会学部社会学科 4 年	
	早 瀬 陽 彦	東洋大学社会学部社会学科 4 年	
	小 澤 恵	東洋大学社会学部社会福祉学科 2 年	
補佐	徳 田 理 人	東洋大学社会学部社会学科 4 年	
精神障害	坂 井 麻 祐 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	福 本 佳 奈	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
補佐	大 越 彩 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
障害児	足 立 夏 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	薬 師 寺 留 理	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
補佐	松 崎 亜 耶	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
訪問調査員 (専従)	浅 野 華 奈 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	石 島 美 希	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	小 澤 奈 美	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	川 俣 絢 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	小 林 聡	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	清 水 香 里	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	菅 原 尚 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	高 田 亜 希	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	穂 積 由 香 里	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	富 塚 正 子	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	山 崎 智 都	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	吉 羽 知 美	東洋大学社会学部社会福祉学科 4 年	
	塚 本 あ ず さ	東洋大学法学部法律学科 4 年	

## あとがき

本調査は、文京区福祉部並びに保健衛生部と東洋大学社会学部社会福祉学科との協働によって進められました。近年、大学と地域との連携や協働のあり方が求められ、模索している中で、今回の調査に携わる機会を提供していただいた文京区に感謝を申し上げます。

また、文京区内の障害を持つ方々や関係団体の方々にもご協力、ご指導いただきましたことを改めましてお礼を申し上げます。

さて、本調査は、調査概要にも述べているように、文京区地域福祉計画（障害者計画）の策定に向け、区内の身体障害者、知的障害者、精神障害者並びに障害児の生活実態、障害者福祉サービスの利用状況及び障害者福祉施策への意向等を把握するためのニーズ調査でありました。平成17年度に行った文京区障害者（児）実態・意向調査の結果を踏まえ、利用者本人・家族が抱えている問題や将来に向けた不安や思いなどを具体的に把握するため、質的調査法を用いてインタビュー調査を行いました。

また、調査には文京区福祉部並びに保健衛生部の指導を受けながら東洋大学社会学部社会福祉学科の29名の4年生を中心に障害別に4つの調査チームを編成して、調査・分析にあたりました。昨年の夏以降、本調査にかかわる中で、調査の手法を学ぶことはもとより、障害を持つ方やその家族の方々の生活を垣間見ることができていただき、社会福祉専門職としての支援のあり方、さまざまな社会資源との連携の必要性、地域で生活することの意味とそれを支える施策の関係など、本当に多くの学びができました。文京区にある東洋大学での最後の締めくくりこのような学びができたことを学生たちは感謝しております。そして、異口同音に文京区という地域にこだわりを持ち、好きになったということを実感しました。改めて調査に協力していただいた方々、文京区の皆様に感謝をいたします。

本調査結果には、249名の方々の現時点での生活の中における現実の声が集約されています。個別的、障害、年齢等によって求められていることはさまざまですが、共通していることは、全体的には、文京区において自分らしい生活をしたいという思いからの声であり、そのための計画づくりや福祉サービスの充実を求めているということです。特に総合的、継続的な相談支援の人材の専門性や拠点の必要性、医療、教育との連携強化、就労支援、住宅の確保、物理的なバリアや意識のバリアなどの課題がみえてきました。

このように障害を持つ人たちの生活課題は、福祉施策のみではなく、総合的な施策の充実が求められ、さらには文京区民の方々への啓発、理解も必要になるといえるでしょう。

今後、本調査が文京区の計画づくりの過程や自立支援協議会、そして総合的なまちづくりへの施策に確実に反映されることをご期待申し上げます。

東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 高山 直樹

## 文京区障害者（児）実態調査報告書

平成 20 年（2008 年）3 月発行

発行 文京区

編集 福祉部障害者福祉課

福祉部文京福祉センター

保健衛生部保健予防課

〒112-8555 文京区春日一丁目 16 番 21 号

電話 03 (3812) 7111 代表

<http://www.city.bunkyo.lg.jp>

印刷物番号 F 0 3 0 7 0 2 7

有償頒布価格 8 4 0 円

資源有効利用のため再生紙を使用しています。